

切実な声を受け止め国保料引き下げの決断を

- 静岡市の国保加入世帯 115,574世帯
- 静岡市の国保被保険者数 193,060人

つくれます!国保料引き下げに必要な財源

■国保会計の基金41億円の活用

一人1万円引き下げに必要な資金は、約20億円です。基金の半分の活用で引き下げが可能となります。

■静岡市の一般会計からの繰り入れ増額

静岡市の財政支援が少ないために、静岡市の国保料は、政令市中2位になっています。繰り入れを計画的に増やし、せめて平均なみにしてほしいものです。

■国に、削減された国保会計への国庫支出金を「もとに戻す」よう求めることです。

●消費増税、社会保障の「負担増」…急速に広がる暮らしへの不安

来々4月からの消費増税、年金削減、医療・介護の負担増が打ち出されています。いずれも所得が少ないほど家計への負担は重く、不安は増すばかり。

消費増税や社会保障については、さまざまな考え方がありますが、暮らしの実態をみれば4月からの増税・負担増は中止すべきではないでしょうか。

国保加入世帯は、加入世帯の8割が年所得200万円以下。静岡市では、全国平均よりかなり高い国保料の負担になっています。くらしと地域経済への影響は大きく、何としても来年度の国保料を引き下げが必要です。静岡市に引き下げの決断をせまろうではありませんか。

国民健康保険料 (全国平均)

1世帯あたり	142,000円
一人あたり	81,000円

●静岡市の場合

1世帯あたり	182,812円
一人あたり	109,439円

消費増税と社会保障改悪などによる今後の負担増

家族構成	年収	負担増額
75歳以上の夫婦世帯	240万円	13.7万円
	360万円	27.6万円
40代夫婦・片働き4人世帯	300万円	25.0万円
	500万円	32.9万円

大和総研「社会保障・税の一体改革による家計への影響試算」(改訂版)から



減免基準の見直しも必要です。国保料を払ったら、生活保護基準以下になるケースが増えてしまうからです。



署名到着数

4,098人分
(10月7日現在)

国保料引下げ署名推進ニュース No.7

静岡市医療と福祉をよくする会 葵区田町5-90 電話 253-7275

清水・国保料を値下げさせる会 清水区青葉町9-11 電話 351-2728

(署名用紙、推進ニュースのバックナンバーあります。上記までご連絡ください。)